

【樹林AI株式会社 代表取締役会長就任のお知らせ】

Dolby Laboratories, Inc. 日本法人社長(兼)

東南アジア・大洋州統括 大沢幸弘氏が就任

— 25年前にコンタクトセンター業界を変革した経営者が、AI時代の社会実装を加速—



2026年2月25日 | 東京

AIエージェントの開発・提供を行う樹林AI株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役CEO: Rise Ooi)は、当社社外取締役であり、現在Dolby Laboratories, Inc. 日本法人社長(兼)東南アジア・大洋州統括を務める大沢幸弘氏が、兼務で当社代表取締役会長に就任したことを発表いたします。

大沢氏は三井物産(情報産業本部)出身。エンターテインメントの米国Tech CompanyであるMacromedia社(Flash)、DivX社、Sonic社、Rovi社等で、日本及びAPACを統括するVPやSVPを歴任。各社の技術が世界のdefacto standardになる事等に貢献して来ました。

特筆すべきは、同氏が90年代から2000年代にかけて、三井物産グループのAdamNet(株)(現・三井情報(株)の前身の1社)に於いて、通信・製造・金融・通販等の、多くの大規模コンタクトセンターの構築・運用を手がけ、業界変革を牽引してきた経営者である点です。その後25年を経て、AI

Agentによって「不可能」が「可能」に変わりつつある今、同氏は再び構造変革に挑み、温めてきた「夢」を、いま形にします。

同氏の就任は単なる経営体制の強化ではなく、日本におけるAI活用が「特定の大企業中心の実証段階」から「社会基盤として本格的に実装される時代」へ移行したことを示す、象徴的な出来事と位置づけられるでしょう。

樹林AIは、単なるチャットボットや自動応答システムではなく、企業の“業務そのもの”を、自律的に実行するAIエージェントプラットフォームを提供しています。複数のAIエージェントが連携するマルチエージェント技術の中核に、メール、電話、業務システム、LINE、SNSなど企業内外のコミュニケーション経路を横断的に統合。CRMや基幹システム、各種データベースと連携し、問合せ対応からデータ更新、通知、タスク生成、フォローアップまでを一気通貫で自律実行します。

平均応答速度0.4秒、認識率98%という世界最高水準の電話対応品質を実現し、応答の自動化にとどまらない、“業務フロー全体の再設計”を可能にしています。人手不足、業務の属人化、問合せ増加、コスト増大といった企業の構造課題に対し、部分最適ではなく全体最適を提供。コミュニケーションとデータ、そしてオペレーションを統合し、企業活動を次の段階へ引き上げます。

今回の就任により、樹林AIはグローバル水準のガバナンス体制強化とともに、海外市場展開を本格的に推進していきます。創業初期フェーズから国際的テクノロジー大企業へと進化する転換点となる人事です。

代表取締役会長 大沢幸弘 コメント

「人口急減や人手不足は、日本企業が直面し続ける構造的な課題です。私は、コンタクトセンターの構築・運用に駆け回っていた当時から、“全自動化”を夢想していましたが、技術的には未だ不可能でした。今、AIの進化によってそれが現実になります。創業者Riseの描くビジョンは、私達が、「かつて実現できなかった未来」、そのものです。日本産まれの本業AIには、技術で世界と戦える数少ない新企業として、大いなる成長が期待されます。大きな使命感と共に、その挑戦に参画致します。」

代表取締役CEO Rise Ooi コメント

「新会長の参画は、当社にとって単なる体制強化ではありません。25年前にコンタクトセンター産業を推進した当事者が、今、AIによる“完全自律型オペレーション”の実現に加わります。構築と運用の双方を熟知し、大規模センターを立ち上げてきた実績は、AIを“机上の理論”ではなく、“現実の社会基盤”へと昇華させる力になります。私たちは、日本から世界へ通用するAIエージェント企業を創る。その挑戦を、会長・大沢と共に加速させます。」

なお同氏は今後、樹林AIの中長期戦略および事業基盤強化に力点を置き、日本発AI企業の成長加速を主導してまいります。

■ 大沢幸弘 略歴

三井物産株式会社にて情報産業に従事。多数の大規模コンタクトセンターを構築・運用し、CRMコンサルティング事業を立上げ、業界の発展を牽引。複数の米国Tech Companyの日本やアジア大洋州の責任者を歴任。現在Dolby Laboratories社の日本法人代表取締役社長(兼)東南アジア・大洋州統括。De facto標準技術を目指す市場展開とエコシステム構築を推進。グローバル経営、テクノロジー事業戦略、Post Merger Integration 等を専門とする。海外勤務歴はSilicon Valley, Singapore等。早稲田大学(高等学院/理工学部)卒。東大EMP修了。

■ 樹林AI株式会社について

樹林AI株式会社は、企業の業務プロセスを自律実行するAIエージェント基盤を開発・提供する日本発のテクノロジー企業です。メール、電話、各種メッセージング、基幹システムを横断的に統合し、問い合わせ対応から業務フロー全体の自動化までを一気通貫で実装します。部分最適ではなく、企業オペレーションそのものを再設計する点に特徴があります。

経営陣はGoogle、Apple、Microsoft、OpenAI、NVIDIA、Amazon、Meta、Palantirなど世界的テクノロジー企業出身者で構成。急成長企業の立ち上げと拡大を担ってきた実行力を背景に、日本発で世界市場に通用するAIエージェント基盤の構築を推進しています。

[ウェブサイト](#) | [LinkedIn](#)



報道関係お問い合わせ先

樹林AI株式会社 高山明日香

Tel: 080-4607-0677

E-mail: press@jurin.ai

URL: <https://www.jurin.ai/>

メディア関係者の皆様へ

樹林AI 代表取締役会長 大沢幸弘

インタビューのご案内

— AIが“業務ツール”から“経営インフラ”へ進化する時代を語る —



樹林AI株式会社では、代表取締役会長に就任した大沢幸弘へのインタビュー取材を受け付けております。

25年前にコンタクトセンター業界の構造変革を牽引した経営者が、AI時代における業務自律化の未来をどのように描くのか。

AIエージェントが企業組織にもたらす変化、日本企業の競争力向上に必要な戦略視点、そして“完全自律型オペレーション”の可能性について、経営の立場からお話しいたします。

■ 主なインタビューテーマ

- ・AIエージェントが企業にもたらす構造変化
- ・業務自律化と働き方の再定義
- ・コンタクトセンターの未来像
- ・日本発テクノロジー企業のグローバル戦略

■ 取材形式

対面・オンライン・イベント登壇・寄稿対応可能

■ 取材申込



樹林AI株式会社 高山明日香

Tel: 080-4607-0677

E-mail: press@jurin.ai

Website: www.jurin.ai

URL: <https://www.jurin.ai/>